

豊橋市立くすのき特別支援学校

概 要

平成26年12月25日

豊橋市教育委員会

《 目次 》

1	施設概要	1	
2	学校概要	4	
3	教育方針	6	
4	「豊橋市立」の学校としての特色	7	
5	日課表	9	
6	年間行事予定	10	
7	通学方法	11	
8	標準服	12	
9	今後の予定	13	
	<table border="1"><tr><td>附属資料</td></tr></table>	附属資料	14
附属資料				

豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会設置要綱等

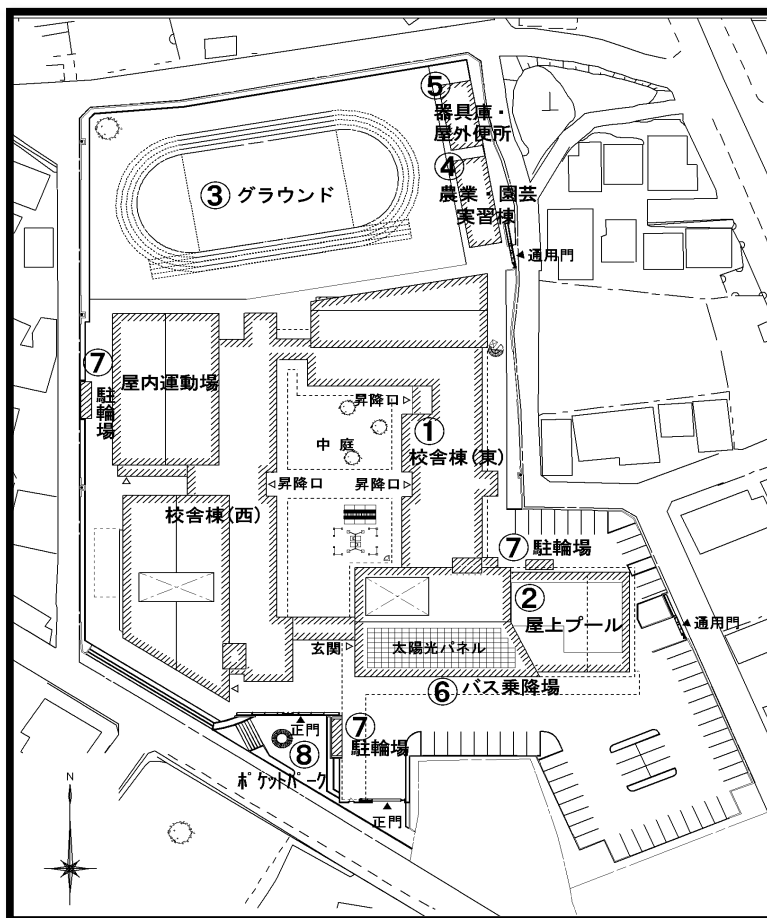
1 施設概要



- 敷地面積 14,171.70㎡
- 延床面積 10,424.25㎡
- 構造等 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建

〈配置図〉

- ① 校舎・屋内運動場
- ② 屋上プール
- ③ グラウンド
- ④ 農業・園芸実習棟
- ⑤ 器具庫・屋外便所
- ⑥ バス乗降場
- ⑦ 駐輪場
- ⑧ ポケットパーク



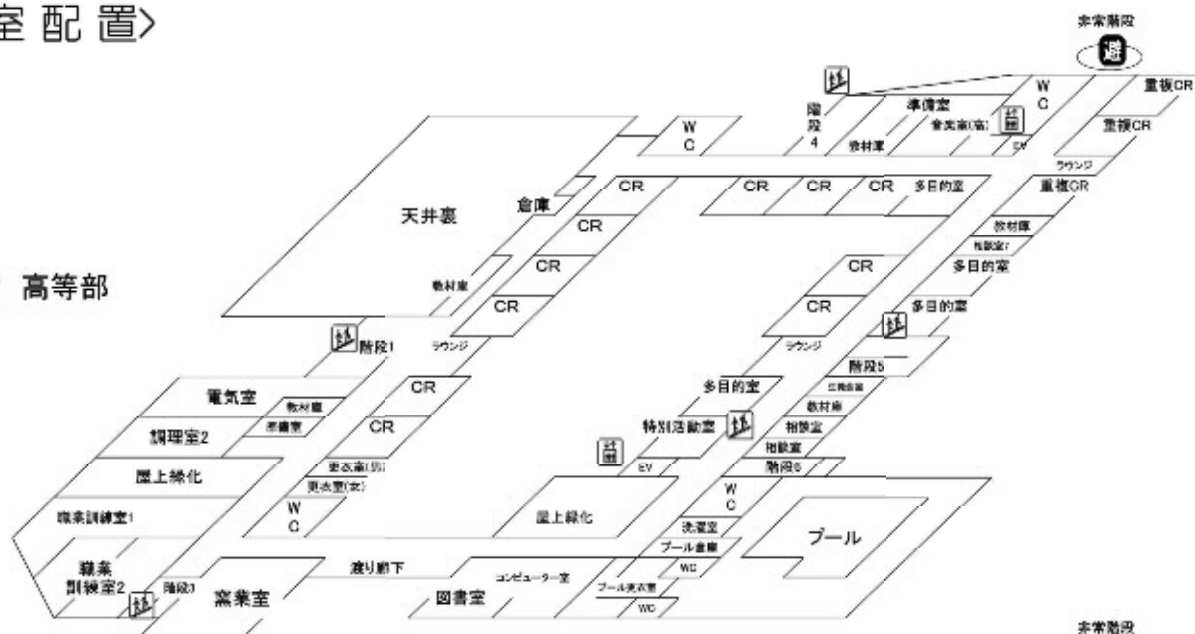
<各諸室等>

区 分 諸 室 等	
(1) 学習関係諸室	
普通教室・多目的スペース	普通教室（小[19]・中[14]・高等部[14]）、多目的室[9]、プレイルーム[1]
特別教室	音楽室[3]、美術室[1]、調理室[2]、コンピューター室[1]、図書室[1]、自立活動室[1]、生活訓練室[1] 等
作業学習関係諸室	木工室[1]、窯業室[1]、多目的作業室[1]
職業訓練関係諸室	職業訓練室[2]
(2) 管理関係諸室	校長室[1]、事務室[1]、職員室[1]、会議室[1]、保健室[1] 等
(3) 屋内運動場	アリーナ、ステージ、器具庫 等
(4) プール	プール更衣室 等
(5) 生活交流空間	ランチルーム[2]、ラウンジ 等
(6) その他共通空間	玄関、昇降口、廊下、階段、エレベーター、倉庫、機械室 等
(7) 屋外施設	グラウンド、芝生広場、農業・園芸実習棟、器具庫・屋外便所 等
(8) 駐車場・駐輪場等	バス乗降場、駐車場、駐輪場 等

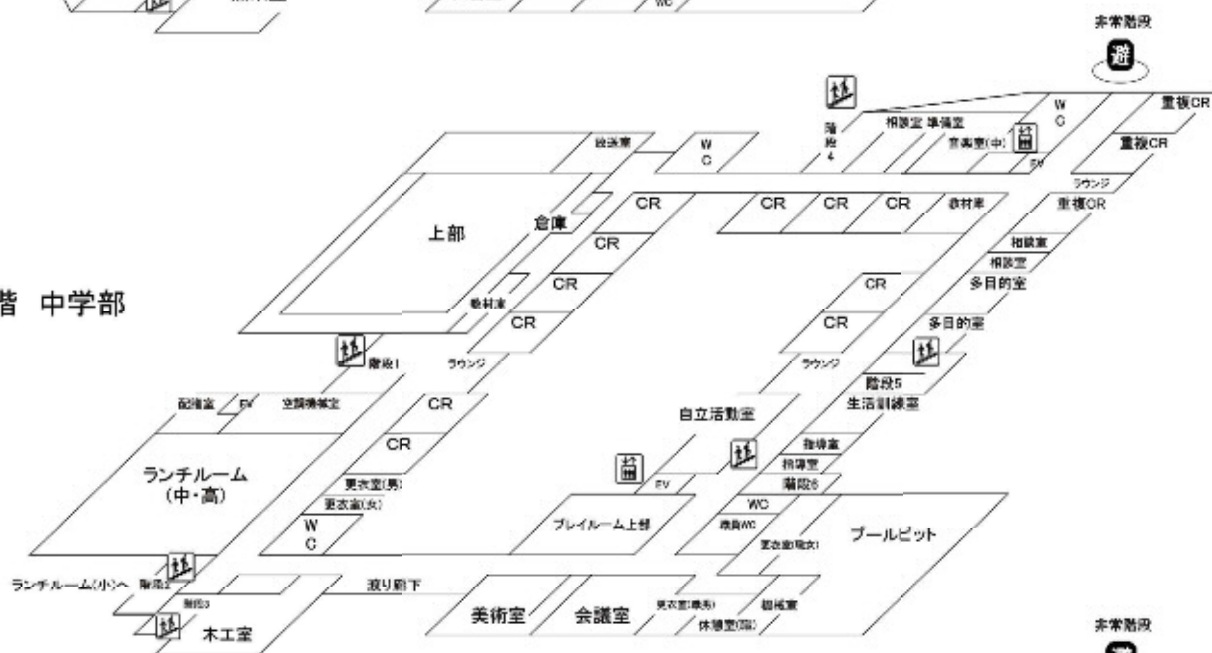
※[]内数字は整備室数を示す。

<教室配置>

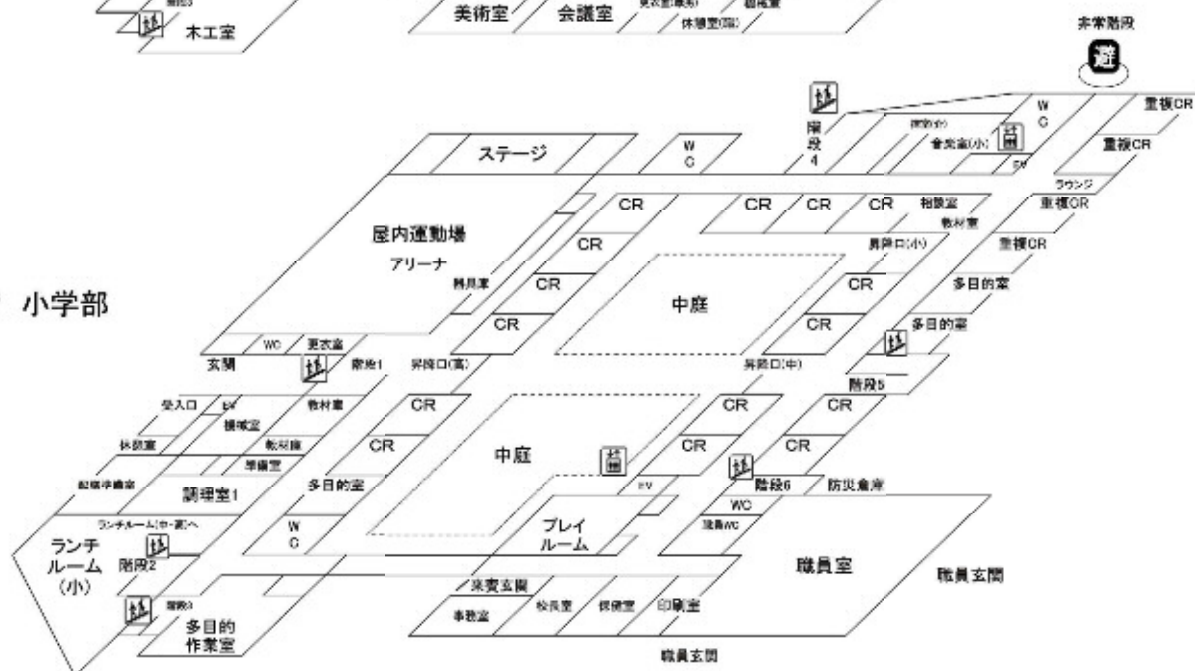
3階 高等部



2階 中学部



1階 小学部



2 学校概要

(1) 学校名

豊橋市立くすのき特別支援学校

(2) 所在地

愛知県豊橋市野依町字上ノ山3番地の2

(3) 開校年月日

平成27年4月1日

(4) 対象

知的障害のある児童生徒

(5) 通学区域

豊橋市、田原市

(6) 設置する部

小学部 中学部 高等部（一般・職業コース）

(7) 通学方法

通学区域内を運行するスクールバスによる通学や公共交通機関を利用した通学など

(8) 平成27年度児童生徒数（見込み）

平成26年12月1日現在

部	小学部								中学部				
	1	2	3	4	5	6	重複 障害	計	1	2	3	重複 障害	計
人数	11	17	15	6	14	12	8	83	19	23	18	6	66
学級数	2	3	3	1	3	2	3	17	4	4	3	2	13

部	高等部										合計
	高等部（一般コース）					高等部（職業コース）					
学年	1	2	3	重複 障害	小計	1	2	3	小計		
人数	17	16	21	4	58	9	—	—	9	67	216
学級数	3	2	3	3	11	1	—	—	1	12	42

※高等部の定員は97名

※職業コースについては、開校初年度は1年生のみ。

(9) 教職員構成（見込み）

平成26年12月1日現在

校長	教頭	部主事	教諭	養護教諭	栄養職員	事務長	事務員	介護員	実習助手	用務員	合計
1	2	3	81	2	1	1	3	7	2	2	105

(10) 給食

センター方式(南部学校給食共同調理場)

(11) 学期

3学期制

(12) 校章



どっしりと根を張り、大空に伸びていく「くすのき」。熱い日差しや寒い北風からも子どもたちを守る「くすのき」。この「くすのき」は豊橋市、田原市の市の木でもあるため、本校の校名としたほか、シンボルツリーとしても予定している。

そんな力強さと優しさをめざして中央に「くすのき」を、そしてバックに豊橋市の徽章「千切」を配置した。

(13) 校歌

子どもたちが、歌いやすく、覚えやすく、元気がでる校歌として、前愛知県立豊橋聾学校長の岩瀬繁樹氏に作詞を、豊橋ふるさと大使の新藤悦子氏に補作詞を、同ふるさと大使の馬飼野俊一氏に作曲を依頼し作成した。

「豊橋市立くすのき特別支援学校」校歌

作詞：岩瀬繁樹
補作詞：新藤悦子
作曲：馬飼野俊一
編曲：馬飼野俊一

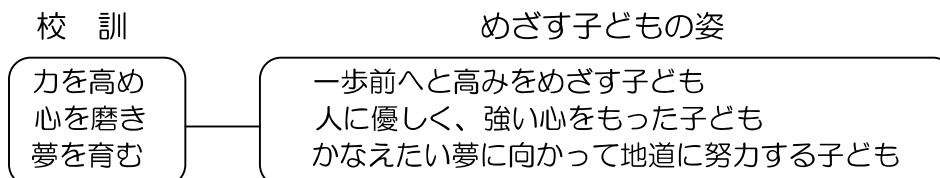
- 1 野依の丘に 花香り
くすのき伸びる 青い空
まばゆい光 あおぎ見て
大きく息を 吸いこもう
はたらき 生きる 力を高め ……
あつまれ くすのき 手を取り みんな
あつまれ くすのき 手を取り みんな
- 2 しだれの桜 伝えしは
ゆたかに根づく 地の歴史
楽しく学び 助けあい
根をはり花を 咲かせよう
仲間と共に 心をみがく ……
つながれ くすのき 笑顔で みんな
つながれ くすのき 笑顔で みんな
- 3 かがやく三河 穂の国の
もえたつ緑 風すまし
希望に胸を はずませて
勇気を羽に 飛びたとう
はぐくむ夢は はるかな空へ ……
ひろがれ くすのき はばたけ みんな
ひろがれ くすのき はばたけ みんな

3 教育方針

(1) 教育目標

一人ひとりの障害、能力・適性等をふまえ、個に応じた指導・支援によって、その子の可能性を引き出し、学校、家庭、地域社会でたくましく生きることのできる人間の育成をめざす。

(2) 校訓



(3) 各部の指導目標

【小学部】

- ア 基本的な生活習慣を身につけ、積極的に行動できる子を育てる。
- イ 友だちや先生と一緒に過ごす中で、周囲と仲良く活動できる子を育てる。
- ウ 身近な事象に興味関心をもち、積極的にかかわろうとする意欲・態度を育てる。

【中学部】

- ア 日常生活に必要な基礎的能力の習得に努め、主体的に活動できる子を育てる。
- イ 友だちとのかかわり活動をひろげ、友だちと協力して活動できる子を育てる。
- ウ 興味関心のあることについて、見通しをもって働きかける意欲・態度を育てる。

【高等部】

- ア 社会的自立をめざし、社会生活に必要な知識・技能・態度を育てる。
- イ 友だちと協力し合う中で、自らの思いや考えを表現できる子を育てる。
- ウ 社会的自立とともに、生きがいをもって生活する意欲・態度を育てる。

(職業コース)

- (ア)職業自立をめざし、就労に必要な知識・技能・態度を育てる。
- (イ)就労意識の向上を図り、将来の夢や希望を実現しようとする意欲・態度を育てる。

(4) 各部の重点的な取組み

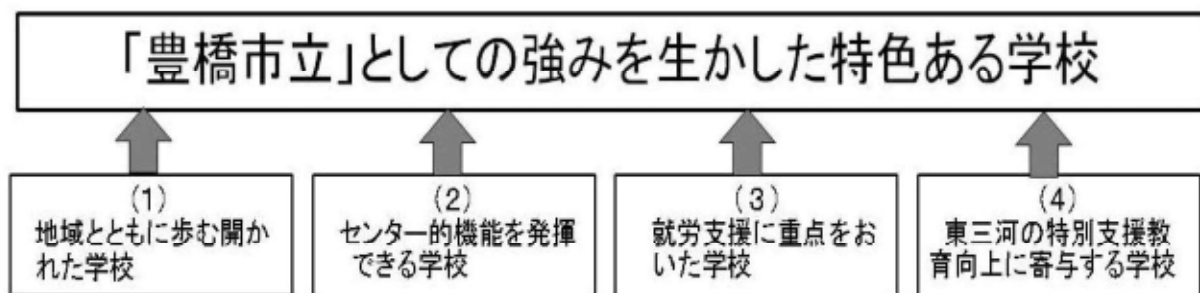
	小学部	中学部	高等部	
			一般コース	職業コース
ア <u>力を高める</u> 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なアセスメントのもと、重複障害教育や自閉症教育の充実と工夫 ・「個別の教育支援計画」に基づいた自立活動指導の充実 ・豊かな魅力ある体験活動の充実 ・ICT機器の積極的かつ効果的な活用 		<ul style="list-style-type: none"> ・就労を意識した指導の徹底 ・部活動を中心とした体づくり 	
イ <u>心を磨く</u> 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・野依小学校との交流及び共同学習の推進 ・地域とふれあう活動の推進 ・伝統的な文化を体験する活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・南稜中学校との交流及び共同学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習に力点を置いた学校間交流の推進 (渥美農業高校・豊橋工業高校・豊橋商業高校・家政高等専修学校等) ・地域でのボランティア活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋・田原全域でのボランティア活動の推進
ウ <u>夢を育む</u> 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・できることを増やし、得意なことを伸ばす指導の工夫 ・発達段階に応じたキャリア教育の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後に生かせる余暇活動への指導の充実 ・農業を核とした作業学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校外における様々な実習の推進 ・栽培から販売までを一貫して行う作業学習の推進

4 「豊橋市立」の学校としての特色

本校は、愛知県立豊川特別支援学校の過大規模の解消と東三河地域の特別支援教育の推進を目的とした、本市初めての市立特別支援学校である。

本市としては、将来を担う子どもたち一人ひとりの個性と可能性を伸ばし、たくましく生きる人間の育成をめざし、責任を持って教育活動を展開していく必要がある。

そのために、愛知県立豊川特別支援学校の教育活動を引き継ぐとともに、併せて、市が保有するネットワークや仕組みなど、市立としての強みを最大限生かした、4つの特色を掲げた学校づくりを推進する。



(1) 地域とともに歩む開かれた学校

<主な取組み>

- ・農業の盛んな野依校区にある学校という特色を生かし、保護者と協働で地域の協力を得て、農業を核とした作業学習を展開する。(栽培－加工－販売を一貫して行う作業学習の実施)
- ・近隣の小中学校と、学校行事での相互交流や合同授業などを行い、交流活動を推進する。
- ・市内外で開催される様々な行事へ積極的に参加し、和太鼓、ダンス等の発表の機会を設ける。
- ・野依校区をはじめ市内外に出向き、ボランティア活動を定期的実施する。
- ・敷地内のポケットパークや校舎内のランチルーム、屋内運動場などの施設開放を行うほか、学校施設を活用し、地域との交流を推進する。
- ・災害時において、福祉避難所として学校を活用する。

(2) センターの機能を発揮できる学校

<主な取組み>

- ・幼稚園・保育園、小中学校及び高等学校に対する相談窓口の一本化や相談体制の明確化により、相談しやすい体制を構築する。
- ・小中学校における事例検討会での指導・助言、園児・児童・生徒への対応に関する巡回訪問、特別支援学級教員の授業づくり支援を行うほか、教材開発・教材提供・資料集積等、より効果的な支援をめざす。
- ・本校教員のセミナーや研修の実施により、小中学校教員に対する特別支援教育への理解を深める。
- ・こども発達センター、にじの子相談室等との連携のもと、障害のある子どもや保護者に対し、教育相談、学齢前の早期相談、就学相談等を行い、相談機能の充実を図る。

(3) 就労支援に重点をおいた学校

<主な取り組み>

- ・企業に対する障害者雇用の理解啓発や就労先の開拓等を行い、進路指導の充実を図る。
- ・渥美農業高校、豊橋工業高校、豊橋商業高校、家政高等専修学校等と連携し、各校の専門分野を活用した作業学習を実施する。
- ・総合相談支援センター、ハローワーク豊橋、豊橋商工会議所、JA豊橋など、本市がもつネットワークを生かし、職場体験、受託作業、企業実習等、就労に役立つ多様な実習を実施する。また、市役所内の障害者ワークステーションや企業等との連携のもとで、サテライト形式の実習も取り入れる。

(4) 東三河の特別支援教育向上に寄与する学校

<主な取り組み>

- ・特別支援学校教員と小中学校教員の人事交流枠を大幅に拡大し、教育活動の活性化を図るとともに、教員における特別支援教育の力量向上を図る。
- ・教員研修において、本市の小中学校や東三河の県立特別支援学校との連携を図る中で、各種研修、及び教員免許状更新講習等に積極的に参加し、研修交流を通じた特別支援教育の充実を図る。
- ・教員免許取得に必要となる介護等の体験や、学生ボランティアを積極的に受け入れ、教育活動の活性化と特別支援教育の充実を図る。
- ・従来の「学校評議員会」の枠組を広げ、保護者、地域住民に加え、本市及び田原市教育委員会などで組織する新たな委員会を設置し、教育活動をはじめとした学校経営を評価・検証するなど、さらなる教育環境の向上を図る。

5 日課表

小学部・中学部・高等部<一般コース>		高等部<職業コース>		
(8:00~)	(部活動)	8:00~	部活動	
8:40~	スクールバス到着	8:40~ 9:00	朝の学習	
9:00~ 9:10	朝の会	9:00~ 9:10	朝の会	
9:10~ 9:50	第1時限	9:10~ 9:50	第1時限	週2日連続した90分授業を行う
10:00~10:40	第2時限	10:00~10:40	第2時限	
10:50~11:30	第3時限	10:50~11:30	第3時限	週2日連続した90分授業を行う
11:40~12:20	第4時限	11:40~12:20	第4時限	
12:20~13:10	給食	12:20~13:10	給食	
13:10~13:50	第5時限	13:10~13:50	第5時限	週1日連続した90分授業を行う
14:00~14:40	第6時限	14:00~14:40	第6時限	
14:40~15:00	帰りの会・下校準備	14:40~15:00	帰りの学習	
15:00~	スクールバス出発	15:00~15:15	部活動準備	
(15:15~16:00)	(部活動)	15:15~16:00	部活動	
(16:15)	(下校)	16:15	下校	
小学部1年生は毎日5時限、2年生は週1日のみ6時限、3年生以上は毎日6時限で下校 ※ (): 一部生徒は部活動に参加				

6 年間行事予定

4 月	入学式(全) 1 学期始業式(全) P T A 総会(保)	10 月	修学旅行(小6) 校内実習(中) 校内実習(高1) 校外現場実習(高2・3) 校外現場実習(高1・2・3職業コース) 宿泊学習(小5) 社会見学(中2) 社会見学(高1)
5 月	遠足(小) 遠足(中) 遠足(高) 運動会(小・中) スポーツ大会(高)	11 月	文化祭「のよりん祭り(仮称)」(全) 社会見学(中1) 愛びっくバスケットボール大会(高) 社会見学(高2)
6 月	校内実習(中) 校内実習(高1) 校外現場実習(高2・3) 宿泊学習(中1・2) 体験学習(高2)	12 月	保護者会・授業参観日(保) 愛びっくフライングディスク大会(高) 2 学期終業式(全) 冬季休業(全)
7 月	体験学習(高3) 宿泊学習(高1・2) 保護者会・授業参観日(保) 1 学期終業式(全) 夏季休業(全)	1 月	3 学期始業式 体験学習(高2) 体験学習(高3)
8 月	夏季休業(全) 全校出校日(全) 事業所見学(高1) 個別懇談会(保)	2 月	体験学習(高1) 体験学習(中1～中3) 卒業生を送る会(小) 高等部入学選考(職業コース) 高等部入学選考(一般コース) 卒業生を送る会(中)
9 月	2 学期始業式(全) 修学旅行(高3) 体験学習(中1～中3) 体験学習(高1) 修学旅行(中3) 社会見学(小1～5) 愛びっく陸上競技大会(高)	3 月	高等部卒業証書授与式 小・中学部卒業証書授与式 個別懇談会(保) 新入学説明会(小・中) 新入学説明会(高) 修了式(全) 春季休業(全)

※(全)…全校児童生徒、(保)…保護者

7 通学方法

(1) スクールバス

コース名	バス停名	所要時間
渥美田原線	1 渥美支所 2 赤羽根市民センター 3 めっくんハウス 4 杉山町 5 大清水出張所	約65分
石巻線	1 石巻出張所 2 西小鷹野 3 豊岡中A 4 文化会館 5 佐藤町 6 幸公園 7 曙町	約65分
西部線	1 総合体育館 2 新栄町 3 往完町 4 牟呂町 5 南稜中（渥美線植田駅）	約55分
二川線	1 動植物公園 2 二川駅南 3 ゆたか学園	約45分
多米線	1 岩崎学園 2 多米町 3 豊岡中B 4 飯村町 5 藤並町	約50分
市内南北線	1 豊橋公園 2 ここにこ 3 福岡小 4 ほいっぴ	約50分

(2) その他の通学方法

ア 路線バスを利用

豊橋鉄道路線バス 三本木線を利用（豊橋駅～くすのき特別支援学校前（仮称））

イ 電車を利用

豊橋鉄道渥美線 植田駅から、スクールバスを利用

ウ 自転車を利用

自宅からの安全な通学経路を学校に申請し、通学

エ 徒歩で通学

安全な通学経路を学校へ申請し、通学

オ 保護者の送迎

8 標準服

(1) 標準服

- ・小学部…男子女子とも私服
- ・中学部…[男子]夏：ポロシャツ、スラックス 冬：ブレザー、ポロシャツ、スラックス
[女子]夏：ポロシャツ、スカート 冬：ブレザー、ポロシャツ、スカート
- ・高等部…[男子]夏：ワイシャツ、スラックス 冬：ブレザー、ワイシャツ、スラックス、ネクタイ
[女子]夏：ブラウス、スカート 冬：ブレザー、ブラウス、スカート、リボン



高等部[男子]
標準服…冬



高等部[女子]
標準服…冬

(2) 体操服



・小・中・高等部…[男子女子とも]
夏：半袖シャツ、クォーターパンツ

- ・小・中・高等部…[男子女子とも]
冬：ジャージ上下



9 今後の予定

学 校 行 事 等			工 事 等		
月	日	内 容	日	内 容	
12月	18~19	※入学説明会①			
1月	16	※入学説明会②			
			下旬	校舎建設工事等竣工	
2月	4 12 25	高等部職業コース入学選考 // 合格発表 高等部一般コース入学選考			
			下旬	備品搬入	
3月	4 7	高等部一般コース合格発表 新転入学説明会			
			中旬	附属棟建設工事・周辺道路整備工事竣工	
			29	竣工式・内覧会	
4月	上旬	入学式 1学期始業式			
その他	開校記念式典（平成27年10月予定）				

※入学説明会①：県立豊川特別支援学校からの転学者対象

※入学説明会②：豊橋市及び田原市の幼稚園・保育園からの入学、及び小・中学校(特別支援学級)からの転学者対象

附属資料

豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会設置要綱

(設置)

第1条 豊橋市が進める特別支援学校の整備にあたり、豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次の事務を所掌する。

(1) 豊橋市立特別支援学校の整備における必要な事項について意見交換等を行う。

(委員の構成)

第3条 協議会は、委員15名程度をもって組織する

2 委員は、愛知県、周辺自治体、各種団体の構成員及び特別支援教育関係者等のうちから教育委員会が委嘱する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、この要綱に基づき、委嘱する日から協議会の目的達成の日までとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 協議会は、必要に応じて教育委員会が招集する。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

(検討委員会)

第6条 協議会に、別紙検討委員会（分科会）を設ける。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は教育委員会教育政策課において行う。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に教育委員会が定める。

附 則

この要綱は、平成23年10月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年10月22日から施行する。

<別紙>

協議会委員

団 体 名 等
愛知県教育委員会 財務施設課
愛知県教育委員会 特別支援教育課
愛知県立豊川特別支援学校
蒲郡市教育委員会 庶務課
田原市教育委員会 教育総務課
田原市健康福祉部福祉課
田原市社会福祉協議会
豊川市教育委員会 庶務課
豊橋市こども発達センター
豊橋市野依校区自治会
豊橋市野依町自治会
豊橋障害者(児)団体連合協議会
知的障害養護学校の増設を求める家族の会
豊橋市立小中学校特別支援教育研究部
豊橋市立南稜中学校
豊橋市立野依小学校

検討委員会 (分科会)

委 員 会 名
教育課程・教育活動
標準服・体操服
校章・校旗
PTA活動

豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会			委員16名	【12回開催】
委員	愛知県教育委員会 財務施設課主幹	愛知県教育委員会 特別支援教育課長		
	愛知県立豊川特別支援学校長	蒲郡市教育委員会 事務長兼庶務課長		
	田原市教育委員会 教育部次長兼教育総務課長	田原市健康福祉部長		
	田原市社会福祉協議会 会員	豊川市教育委員会 庶務課長		
	豊橋市こども発達センター 事務長	豊橋市野依校区自治会長		
	豊橋市野依町副自治会長	豊橋障害者(児)団体連合協議会 理事		
	知的障害養護学校の増設を求める家族の会 役員	豊橋市立小中学校特別支援教育研究部顧問校長		
	豊橋市立南稜中学校長	豊橋市立野依小学校長		

豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会 検討委員会					
○教育課程・教育活動検討委員会			アドバイザー2名	委員11名	【6回開催】
<アドバイザー> 愛知教育大学副学長、愛知県総合教育センター研究指導主事					
委員	愛知県立豊川特別支援学校教員(4名)	豊橋市野依校区代表(1名)			
	豊橋障害者(児)団体連合協議会(1名)	知的障害養護学校の増設を求める家族の会(1名)			
	愛知県立豊川特別支援学校PTA(1名)	豊橋市立小中学校特別支援教育研究部教員(1名)			
	豊橋市立小中学校教員(2名)				
○標準服・体操服検討委員会			委員6名	【5回開催】	
委員	愛知県立豊川特別支援学校家庭科教員(1名)	豊橋市立小中学校体育科教員(1名)			
	豊橋市立小中学校事務職員(1名)	豊橋市立家政高等専修学校洋裁教員(2名)			
	愛知県立豊川特別支援学校PTA(1名)				
○校章・校旗検討委員会			委員5名	【3回開催】	
委員	愛知県立豊川特別支援学校美術科教員(2名)	豊橋市立小中学校美術科教員(3名)			
○PTA活動検討委員会			委員4名	【3回開催】	
委員	愛知県立豊川特別支援学校PTA担当教員(1名)	愛知県立豊川特別支援学校PTA委員(3名)			